

社会資本総合整備計画書

(茨城県 日立市)

平成29年 3月31日 提出

平成30年 3月30日 変更

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり（防災・安全）その2							重点配分対象の該当	
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）		交付対象	日立市					
計画の目標	<p>昭和47年に開設し老朽化している野球場は、平成31年の茨城国体において軟式野球の会場となっている。スコアボード、バックスクリーン及び外野トイレの改築を茨城国体に間に合うよう実施し、野球場利用者の利便性と安全性の向上を図る。また、長寿命化計画に基づいて、公園施設を適切に整備していく。</p>								

計画の成果目標（定量的指標）											
<ul style="list-style-type: none"> 市民運動公園における月平均利用者数を増加させる。 日立市公園施設長寿命化計画において平成29～31年度の期間内に改築・更新が必要と位置付けられた施設について、改築・更新を行う。 											
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考	
					当初現況値 (H29当初)	中間目標値 -	最終目標値 (H31末)				
市民運動公園利用者数					23,636人/月	-	28,175人/月				
公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合 「31年度末までに改築・更新する施設（5施設）」／「長寿化計画対象施設（68施設）」					(0施設) 0%	-	(5施設) 7.4%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	293百万円	A	293百万円	B	-	C	-	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	-

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A6-1	都市公園	一般	日立市	直接	日立市	日立市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策	日立市						293	-	策定中	
合計（都市防災・公園事業）													293				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
合計																

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	H31	H32	H33		
小計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年3月30日

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり（防災・安全）その2		重点配分対象の該当
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	日立市
計画の目標	<p>昭和47年に開設し老朽化している野球場は、平成31年の茨城国体において軟式野球の会場となっている。スコアボード、バックスクリーン及び外野トイレの改築を茨城国体に間に合うよう実施し、野球場利用者の利便性と安全性の向上を図る。また、長寿命化計画に基づいて、公園施設を適切に整備していく。</p>		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

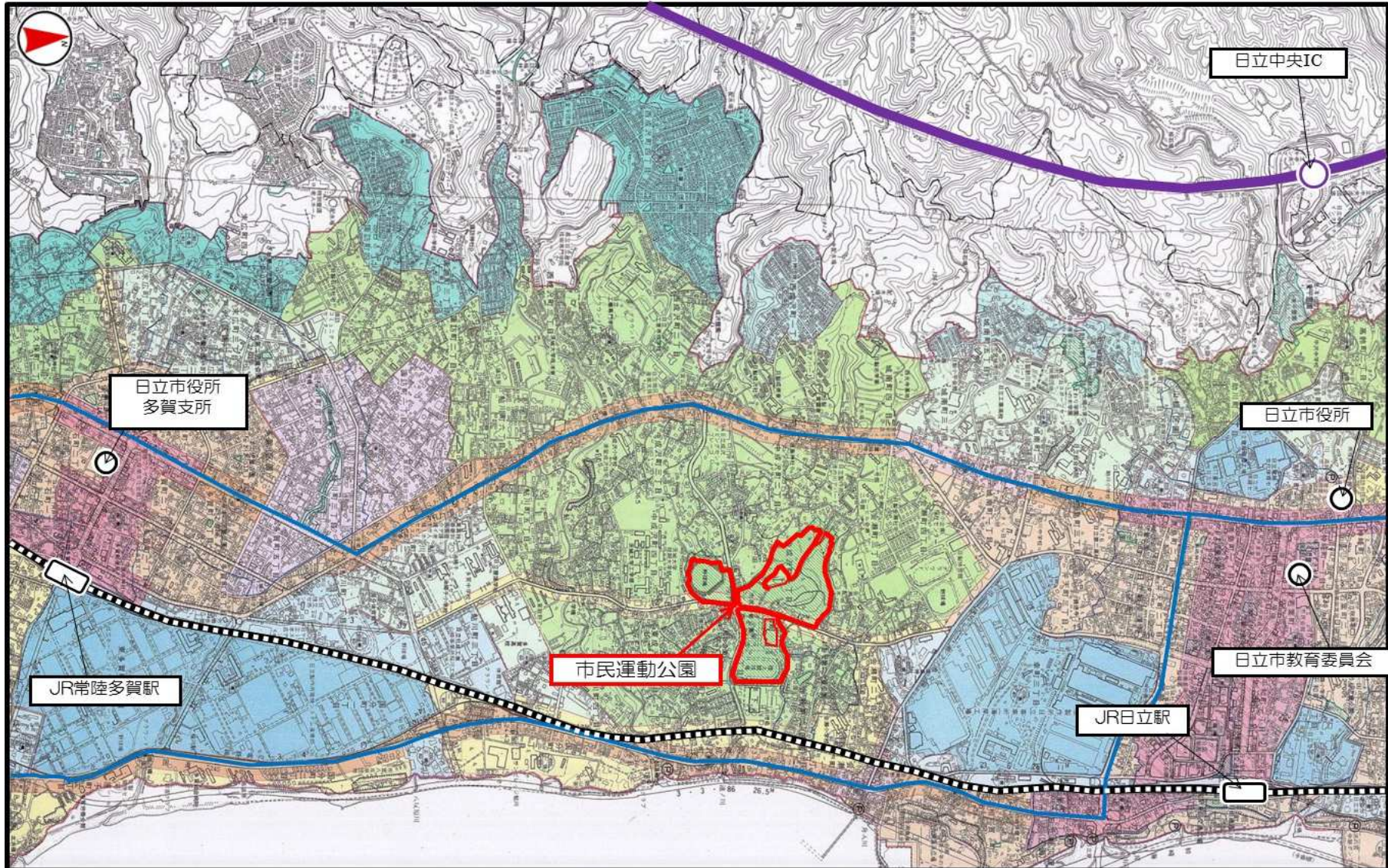
	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	55				
計画別流用 増△減額 (b)	△ 2				
交付額 (c=a+b)	53				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	5				
翌年度繰越額 (f)	48				
うち未契約繰越額 (g)	48				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	91.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	<p>工事の円滑な進捗を図るため、工事着工箇所及び施工方法の見直し等の検討に不測の日数を要したため。</p>				

(参考図面)

社会資本総合整備計画

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり (防災・安全) その2		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)	交付対象	日立市

図1

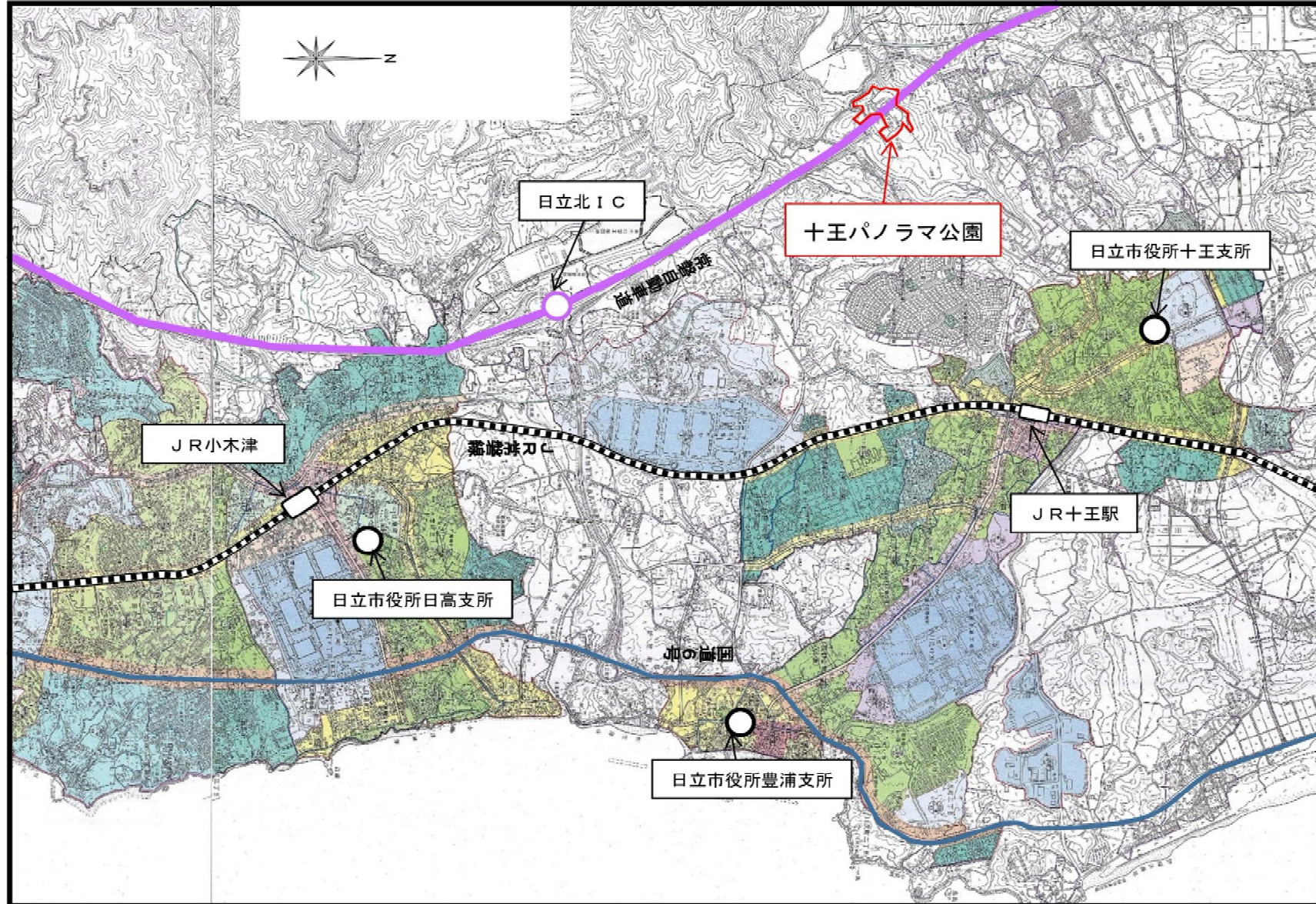


(参考図面)

社会資本総合整備計画

計画の名称	日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり (防災・安全) その2		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)	交付対象	日立市

図2



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 日立市 都市公園の整備による安全・安心なまちづくり(防災・安全)その2

事業主体名: 日立市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1) 上位計画等との整合が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域課題(利用環境の向上等)を踏まえた目標設定となっている。	○
2) 市民運動公園利用の中心となる運動施設整備の観点から整備の位置付けは高い。	○
3) 広域的観点から、都市公園整備地区の位置付けが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性がある。	○
②定量的指標の明瞭性	
1) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
1) 十分な効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	
1) 計画について利用者等との合意形成ができています。	○
2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○